



自然素材を活用したロハス&エコな住環境 エコバウリフォーム・ニュース

10月号 エコロジー& 建築生態学の応用

福島・南会津町の会津前沢「曲がりや」集落は

国道352を下り、湯の花温泉の先、一軒の「曲がりや」蕎麦屋が目印。集落には徒歩で。大内宿など観光地化されず原風景のままの姿が魅力を放っています。「茅葺・曲がりや」古民家を再現した資料館も見もの。今年は茅葺職人が只見からきている。「大内宿に比べ前沢、只見は雪が重く茅材は違う。茅場は、もう集落から消え林になったよ」と言う。京都北山「茅葺の里」は茅場があり、今でも地元の「結い」で何とか葺替えているがやはり此処でも人手不足、職人高齢化が現実です。「昔、この集落の半分は屋根職人だった」と前沢のお年寄りたちは言う。

会津の観光名所・下郷町大内宿

大内宿は江戸時代に、会津若松と日光今市を結んだ会津西街道の宿場町。現在は300mの街道の両脇に茅葺民家の店や蕎麦やが並びます。ねぎ蕎麦といわれる「高遠そば」は長野に多い蕎麦の食べ方で、大根おろし汁に、醤油を加えた汁で、箸の代わりにネギで食べる蕎麦屋が有名。

大内宿の街道の両脇の用水路は、今は観光用ですが、昔は真ん中に流れ生活用水として、人々から飲料・食専用・洗濯と大切に使い分けされてきました。

日本民家再生リサイクル協会(JMRA)正会員 ㈱アップル 大竹清彦



「曲がりや」が特徴



一緒に、植林や葺刈り&茅葺のボランティアなどに参加してみませんか？
アップルでは日本の原風景を保存するさまざまな市民活動に積極的に参加中です！

「エコの先端をいく文化を取り戻す」ビンテージリフォーム
江戸時代木材を再利用するのは当り前の時代。それがいつしか捨てる文化に変わってしまった。究極のエコはそのままの形で出来るだけ長く使う
ビンテージリフォーム。そんな私達の考えが詰まったコンセプト・リフォームを推進中！



「民家再生」そのままの形で出来るだけ長く使う

那須高原・移築民家「紅石荘」見学会



■あと100年使い続ける民家再生

山梨県北杜市から100年前の古民家が那須高原に移築再生されました。茶臼岳を望むために設けた2階小部屋にはアルケディアス網野建築士が設計の突き上げ屋根でこの再生民家の特徴になっています。伝統工法の小屋組み等の主要構造材、造作、板

材にはケヤキを多用。床は、廉価なタイルと違う大判の赤御影石の眠り目地、面取り仕上げ。実はこの床にはもう一つの仕掛けが備えられている。「パッシブソーラ-」です。冬の日射を計算し、日中、日射を床に蓄熱させる。冬の暖房は、一台の撒きストーブとこのパッシブソーラ-の蓄熱暖房で十分に暖かい。機械装置を使わずパッシブで持続可能な暮らしが実現される。



見学会には多くの人が参加

■民家再生は専門知識が非常に大切！

私達リモデラーは、部分的でも家を壊し、作り替えていく以上明確な責任と使命を負います。そのためお客様に代わり法律、構造、施工、計画のプロでなくてはならず建築業許可、建築士知識と経験は必須。移築の場合、限界耐力計算という行政申請も必要になります。民家再生は古材の選定や施工の目利きとなる古材施工技術士(厚労省)も取得しているアップルに、是非一度相談してみませんか？



弁柄と土佐漆喰で再生

■足利で現在民家再生中！

現在、足利市街にて120年前の古民家を現地再生中。座敷とキッチンが完成しました。
アップル 日本民家再生リサイクル協会正会員



コンテ・キッチンをインストール

9月13日・国土交通省特別講習会・東京に参加しました。 「自立循環型住宅設計・省エネ実務講習会」が開かれました。



エネルギー消費50%削減を目指す自立循環型住宅設計についての大変中身の濃い実務講習でした。省エネ対策もアップルまでご相談ください。

主催：国土交通省・国土技術政策総合研究所

ロハス・デザイン&エコロジー・リフォーム
ECOBAU REFORM
リフォームアップル自治医大店
URL <http://www.reform-apple.com>

リフォームアップル自治医大店
☎0120-393-897
栃木県下野市祇園1-20-1 〒329-0434
(自治医大駅東口・足銀すぐそば)
☎0285-44-8208 (fax共通)
ホームページで実例を多数ご紹介中。